

上部消化管内視鏡検査の説明・問診及び同意書

上部消化管内視鏡検査とは

食道胃十二指腸を内視鏡で観察して診断を行う方法です。

もしも消化管からの出血が見つければ引き続き止血を行うことができます。

検査方法・手順

- 1) 胃の中を見やすくするシロップを飲みます
- 2) のどあるいは鼻にゼリー状の麻酔薬あるいはスプレーで麻酔をします
- 3) 必要に応じて胃の動きを止める注射をします
- 4) ベッドに横になり、内視鏡を口あるいは鼻から挿入し観察します
- 5) 必要に応じて色素を散布したり、小さな粘膜組織を採取(生検)して顕微鏡検査で診断したりします
- 6) 検査終了約1時間(生検時は2時間)より水分や食事を摂ることができます

内視鏡検査にはまれですが以下のような合併症があります

- 1) 内視鏡がこすれてできる傷からのわずかな出血
- 2) 生検による出血
- 3) 前処置の薬剤によるアレルギー(発疹、血圧低下など)
- 4) 治療中の病気(脳梗塞、心臓病など)の悪化

以上の症状が起きたときは速やかに処置いたします

問診

- 1) 緑内障, 心臓病, 前立腺肥大症, 甲状腺機能亢進症, 糖尿病にかかっていますか はい いいえ
- 2) 体内心臓ペースメーカー埋込型除細動器(ICD)はありますか はい いいえ
- 3) 薬にアレルギーはありますか はい いいえ 内容()
- 4) 血液が固まりにくくする薬を内服していますか はい いいえ 内容()
- 5) 胃薬を服用していますか はい いいえ 内容()
- 6) ピロリ菌検査を受けたことがありますか はい いいえ 時期結果など()

説明医師 金野 陽高

検査を受けることに同意いたします

検査を受けることに同意しません

令和 年 月 日

患者様または代理人(続柄)署名 _____

※必要時には下記に緊急連絡先を記入する

緊急連絡先: 氏名 _____ (続柄) 電話番号 _____